

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

132号

2011年6月6日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ バザーの報告

前日、品物受付の時間に集中豪雨があったので、今回は少ない品数でしたが、それでもこれだけの売り上げがあったのは皆様のご協力のお陰と、感謝しています。今回のバザー収益、

90,890円のうち、50,000円を東日本大震災被災者への寄付とすることに致しました。個人でも所属団体でも、今回の災害に対する義捐は機会あるごとに参加したいと思います。有難うございました。

* 会場に借りた町会事務所に茶色のベレー帽をお忘れになった方、ご連絡ください。保管しています。

○ 藤和マンション行政訴訟控訴

景観・環境に後ろ向きの地裁判決に対し、控訴理由書が5月31日付けで提出されました。

第一回口頭弁論

6月28日(火) 10時30分

於 霞ヶ関東京高裁809号

傍聴に行きましょう!

○ 陳情、廃案となる

区議会議員改選に伴い、常盤台住民の駅前景観・環境に関する陳情は廃案となりました。会では同趣旨の陳情を9月に出す予定。

○ 常盤台に関する研究 発表会と写真展

4月29日(金・祝) 午後2時からギャラリー服部で、

眞田章午さん(龍谷大学法学部3回生)

西脇秀一郎さん(龍谷大学大学院

法学研究科修士1回生)

劉一辰さん(つくば大学大学院博士課程)

大橋良乃介さん(東京大学大学院工学系

研究科卒)

の皆さんの去年調査研究した常盤台についての研究発表がありました。多彩な参加者20名あまりの熱心な質疑応答で時間延長、5時半まで語り合いました。

同会場で、4月28日(木)~5月3日(火)、「記憶と記録にとどめよう!常盤台写真展」として、プロカメラマンの織田さんが見た常盤台の写真を展示しました。

外部から見たこの街の実態が、調査研究と写真のどちらにも、客観的に捉えられていたと思います。それでもどこかに住民への配慮があり、問題点に関して鋭い指摘は差し控えられていました。現状では、もっと厳しい目が私たち常盤台住民に向けられても仕方ないように思われます。

景観重点地区にふさわしい街であるように皆で努力したいと思いました。

○ 協力金のお願い

ここ数年間、協力金のお願いを控えていましたが、いよいよ会員の会費だけでは、ニュース発行や行政訴訟を乗り越えられなくなりましたので、今回、ご寄付をお願いすることになりました。別添えの振込用紙でよろしくお願い致します。金額の上限や下限はありません。

なお、この協力金は町会費とは関係ありません。あくまで本会の活動にご理解くださる方の自由意志によるご協力をお願いしております。

学生が見た常盤台（抜粋）

実際にまち歩きをすることでしか気づくことの出来ないまちの雰囲気を目にすることができました。綺麗に並んだ一軒家、道路に面して植えられた植物、ガイドラインに法的拘束力が無いといっても、住民の自主的な取り組みによって、素晴らしい街並みが形成されたまちです。自動車の少なさは目を見張る程でした。まちを走る自動車は、殆どがその地域のものです。まちを案内していただいた時には、道路の真ん中を歩くことができませんでした。また、道路でサッカ―をする少年がとても印象的でした。素直にこのまちに住みたいと思いました。 Y・I

今回訪問させていただいて驚いたことは、ターミナルの池袋駅から五km程度かつ駅から十分圏内であるにも拘らず、閑静で敷地面積の大きい一戸建て住宅が多く、またプロムナードや点在するクルドサック、各住宅の植栽の緑が良い雰囲気醸し出し、これらが一体となって良好な住宅地景観を形成していた事です。私の地元は大阪の郊外（梅田駅から十km程）なのですが、ターミナルの大阪・梅田駅から五km程度でかつ駅から十分圏内でこれほど良好な住宅地景観と環境がある地域は無く、雑然とした街しかないのが驚かすにはいられません。しかし、この貴重な景観と環境を維持する事に協力しない住民の方がいたり、皆さんの活動を理解しない人がいるという事を聞いて非常に残念に思いました。非常に困難ではありますが、そのような人に意識を改革してもらうことが重要だと思います。 H・T

テレビの功罪

震災直後はどのテレビ局も、地震と津波の被害報道で一色となり、何日もそれが続いて昭和天皇の逝去の際の管理された報道を思い出しました。あの時はうんざりした人たちがビデオ店に走ったそうですが、今回はあまりに悲惨な状況に、誰もが何日もテレビにかじりついていたことでしょうか。

しかし、ある程度、ショック状態がおさまると、多くの民放は、またぞろくだらない番組に戻ってしまいました。

NHKも同じことです。NHKは総合・教育・BS1・BSプレミアムと、何局も持ち、高い放送料を取りながら、国民のために活用しているのか疑問です。一局ぐらい今はこの災害関連だけの報道に絞って、常にニュースや関連の解説を提供したらどうでしょうか。

行方不明者はまだ何千人もいます。福島原発関連はいつも心配です。各地の食物・水・土などに検出される放射能の数値を常にリアルタイムで公表するのが国の責任でしょう。

マスコミが信用できないのは残念です。不安を煽らないようにと、出演者も規制をかけられたようです。風評被害の心配などと言って、透明な情報さえ押さえてしまう隠蔽体質は、本当に犯罪的です。大本営発表だと言う人もいました。

東電への抗議デモに参加した俳優に圧力をかけた、千葉県の自主的に放射能値を測定しようとする若いお母さんたちの動きをつぶそうとしたり、自由な市民を育てたくない人たちが大勢いるということなのでしょうか。 H・S

常盤台公園のはなづくり

チューリップのあと、新しいサルビア類を植えつけました。バラは多くは母の日辺りが満開になるのですが、今年は寒波の影響でしょうか、少し遅めのように見えます。

スタジイの木を見上げて感心している人がいます。「こんな花が咲くとは知らなかった！」いいえ、そのピンクの花はTさんが植えた着生ランですよ。

一方では芝生の雑草との闘いが始まっています。青々とよく芽が出ているなと思うと、殆どが雑草だったことが判明したりするのは、敵が種をつけて飛ばす前に抜くのが一番です。芝生は根切りをし、肥料を撒きました。

ジジババという野草をご存知ですか。春蘭のうなだれた花形を腰の曲がった老人にたとえて言うそうです。桜草のそばで咲いていました。最近心無い人種がこういう山野草を根こそぎ掘っていったら、情けないことです。

去年花をつけなかった皇帝ダリアでしたが、三株とも芽を出してひと安心。色あせて種を付け始めたクリスマスローズの花を、株が弱らないように切り取り、通りがかった人に分けました。十人ぐらいの人が喜んで持って行ってくれました。

定例会六月十一日（土）七時

「ギャラリー服部」にて

